

中学生連載企画
私たちのふるさと松山学 No.34

興居島中学校

島の魅力を伝える
「興居島わくわくイベント」

私たちは総合的な学習の時間「ふるさと興居島学」で学んだことをもとに、興居島の風景や特産品などのすばらしさを多くの人に知っていただくために、ランニング・サイクリングのイベントを企画し、開催しました。

興居島わくわくイベントは「興居島のいいところを多くの人に知ってもらいたい」「先輩たちが島のためにやってきたことをもっと発展させたい」という思いで考えた企画です。昨年7月6日の西日本豪雨で、私

たちの興居島も大きな被害を受け、イベントの中止も考えましたが、興居島のために、今私たちにできることをしたいと考え、「興居島わくわくチャリティーイベント」として実施することにしました。



実行委員会の皆さん

金コーナーの設置を担当しました。看板は海と空をイメージして、興居島の美しさを見てほしい・知ってほしいという思いを込めてデザインしました。(永野知夏さん)

1年生は、「興居島うまいもの博」として、興居島の特産品を使った料理(ひじきご飯、オープンサンド)を工夫し、おもてなしをしました。(山本渚紗さん)



3年生は、主にイベント全体の企画・運営に携わりました。来ていただく方が喜んでくださる内容や、興居島のすばらしい風景を見ていただくコースなどを考えました。(山岡愛さん、山岡美和さん)



生徒自らおもてなし

ランニングコース

興居島中学校から恋人峠までの往復6.5キロのランニングマップ。「おかわりコース」として、長めのコースも用意しました。



サイクリングコース

全長13キロのサイクリングマップ。撮影ポイントや道路状況(下り坂やカーブの急さ)などを詳しく紹介しています。



イベントを終えて

生徒の声

- ① 大勢の人を動かす大変さや、みんなで運営することの楽しさを学びました。また、自分たちでここまでできるんだということに驚きました。
- ② 一番印象に残っていることは参加した方に「ありがとう」と言っていたことです。誰かのために何かをすることの大切さと、感謝されることのうれしさを感じました。この挑戦が興居島の地域おこしになればいいと思います。
- ③ 自分たちで考えて、実行するのは大変でしたが、今回成功させることができたのでうれしさでいっぱいです。「イベント最高!」と思いました。

参加者の声

- ① 「やってみよう!」の心があれば、こんな素敵なイベントができるんですね。
- ② 「島を知ってもらいたい」「島が好き」という学生さんの気持ちが伝わりました。
- ③ 皆さんのおもてなしの気持ちや小さい子どもへの気遣いに心が温かくなりました。自分たちで考え、自分たちが運営していてたくましさを感じました。



参加した生徒によるイラスト



2年生が描いた看板と集合写真

チャリティー募金のお礼

皆様のご協力で、1万5,885円が集まりました。ありがとうございました。

2年生全員で担当しました



生徒が考えたキャラクター「ごごたん」



松山ゆかりの先人78人と伝統文化や歴史のお話17話を掲載しています。購入方法など詳細は市教育研修センター事務所 ☎989-5144へお問い合わせください。



先人と文化の読み物教材
広がれーふるさと松山の心

平成28年4月に開始した中学生連載企画が2巡目に入りました。これまでの連載記事は市ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



二次元コード